

## J-PDX ライブラリーの取扱い及び利用に係る倫理ポリシー

### 1. PDXに係る患者個人の尊厳の保護

J-PDX ライブラリーに収められている PDX 試料及び臨床情報は、尊厳のある患者個人に由来するものであることから、単なるモノやデータとして取り扱うことがあってはならず、「人由来試料等」として『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）に則り適切に取扱う。国立がん研究センター及び J-PDX ライブラリーの利用者は、J-PDX ライブラリーに係る患者個人の尊厳の保護が自らの最大の責任課題であることを自覚しながら、PDX 試料及び臨床情報を取り扱う。

### 2. 信頼に根差した管理と運用

J-PDX ライブラリーに収められている PDX 試料及び臨床情報は、国立がん研究センターを信頼し、J-PDX ライブラリーの趣旨にご賛同くださった方々からお預かりした、創薬研究開発・医学薬学研究のための大切な資源である。我が国においてそのような研究開発を促進するべく国立がん研究センターは、その信頼に応え得るアカデミアや企業の研究開発のために、J-PDX ライブラリーの PDX 試料及び臨床情報の提供を行う。当該提供にあたっては、J-PDX ライブラリーの目的に合致した広く社会還元を目指す創薬研究開発・医学薬学研究のためにのみ利用されるよう適切に管理、運用していく。

### 3. 目的を限定した貸し出し

J-PDX ライブラリー利用者に対する PDX 試料及び臨床情報の提供は、人由来試料等の売買・転貸等、人への畏敬の念に反する行為を防止するために、国立がん研究センターとの契約に基づいた「利用目的を限定した貸し出し」に限るものとする。国立がん研究センターは細心の注意を払い、貸し出した PDX 試料及び臨床情報の使用状況等について適切に監理していく。

### 4. 実験動物に対する倫理的配慮

国立がん研究センターは、実験動物が不可欠である J-PDX ライブラリーの構築と利活用において、創薬研究開発・医学薬学研究などのために用いられる実験動物の福祉に配慮し、実験動物にできる限り苦痛を与えることなく、必要最小限の数での目的が達成されるよう進めるとともに、可能な限り代替法を活用していくよう努力する。また J-PDX ライブラリーを支えてくれている実験動物すべてに対する感謝の念を忘れない。

### 5. 関連法令・規則の遵守

国立がん研究センターは、J-PDX ライブラリーの構築と運用にあたり、個人情報保護、人を対象とする生命科学・医学系研究、動物実験、及び知的財産権の保護など、関連する国内外の各種法令・規則を遵守する。